



西彼北小学校だより

# かがみやき



令和6年12月24日(火)  
西海市立西彼北小学校  
校長 長谷川 文也

## 「やりたい」があふれる3学期に

～夢や目標に向かい、みんなが輝くために～



2学期の始業式の日、「じりつする2学期にしよう!」という大きなテーマを掲げ、これからの未来を自らの力で切り拓く力を付けるために、「自分でできることを増やす(自立)」、「自分の言動をコントロールする(自律)」の2つの目標に向かい、こつこつ努力を重ねてきました。まだまだ成長の過程にありますが、自分が「やりたい」と決めた目標に向かって、何事にも本気で挑戦し、一人ひとりが確かな力を育てた2学期でした。

やさしさいっぱい 1年生	わがまち大好き 2年生	よく見て学ぶ 3年生
 <p>先生気遣う 思いやり 陰ひなたなく 助け合い 大きく成長 1年生</p>	 <p>私が生きる このまちは すてきな人が 暮らすまち わがまち大好き まち探検</p>	 <p>くらしを守る 仕事ぶり よく見て学ぶ 3年生 探究心で 深まる学び</p>
授業で変わる 4年生	親子の絆 5年生	みんなとつながる 6年生
 <p>やる気まんまん スイッチオン よく考えて 伝え合う 授業で高まる 4年生</p>	 <p>コロナ禍が 実施阻んだ試食会 あふれる笑顔 向き合って 心も踊る 親子の時間</p>	 <p>おぼけやしきも 大盛況 みんなをつなぐ 6年生 困難乗り越え よりたくましく</p>

さて、3学期は、一年間のまとめとして、学校教育目標である「やりたいがあふれる学校」の実現に向かい、学習・生活両面において、子どもたちの主体性(やる気・アイデア・願い)を引き出せるような取組をしていきたいと考えています。

『教育とは、子どもを自分の足で歩けるようにしてやること。』

9月の学校だよりでお伝えしたこの言葉の意味を、もう一度全職員で深く受け止め、子ども本来がもつ「学びたい」「伸びたい」という思い・願いを大切にしていきます。

つきましては、ご家庭でもぜひ機会をとらえ「あなたは どうしたい?」と問いかけていただき、お子さん自らの「○○○したい。」という主体性を引き出していただければと思います。早速、「どんな冬休みにしたい?」と投げかけてみてはいかがでしょうか。

# シリーズ 学力⑫ ~大人の学力~



今回はちょっと視点を変えて話します。12月11日付の新聞に「国際成人力調査」の結果が掲載されていました。これは大人が社会生活を送る上で必要な能力を測る調査だそうです。日本の大人の平均得点は、「読解力」と「数的思考力」で世界2位、「状況の変化に応じた問題解決力」が世界1位と、世界のトップ水準であることが記されていました。当然、この3つの力は、小学校の段階から大切に育てている力であり、それがこのような結果に繋がっていることを素直にうれしく思いました。

ただ、この記事には続きがあります。何と**生活満足度は最下位**とのこと。いろいろな背景が推察されます。しかし、私たち教職員は、「学ぶこと」が子どもたち一人ひとりの可能性を開き、「未来の幸せや満足」にきっと繋がる—そう信じています。

## 1月の行事予定

- 8日(水) **第3学期始業式** 通学路点検 安全点検
- 9日(木) 身体測定(5・6年)
- 10日(金) 身体測定(3・4年) 委員会活動
- 14日(火) 身体測定(1・2年)
- 16日(木) 読み語り スクールカウンセラー来校
- 17日(金) 家庭読書の日
- 20日(月) 代表委員会(3～5年生)
- 22日(水) 西彼中学校新入生説明会 移動図書
- 23日(木) 児童集会(給食)
- 25日(土) 西海市少年の主張大会(10:00～大島文化ホール)
- 27日(月) クラブ活動
- 29日(水) 新入学児童保護者説明会
- 30日(木) 全校朝会(2月に向けて)



## 一年の計は元旦にあり



「一年の計は元旦にあり」。文字どおり「一年の計画は元旦に立てるべきである」という意味ですが、ひいては「事にあたっては、まず最初にしっかりと計画を立ててから臨むことが大切である」という意味でも用いられます。よく調べてみると、かの有名な毛利元就も次のような言葉を残しています。

「一年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴にあり」

1年、1月、1日…それぞれの最初のときこそが計画を立てるべき時であること、ひいては「何事も最初が肝心である」という意味です。胸に刻んでおくべき心得とも受け取れます。私も幼少時代、今年一年の目標を漢字一文字に表して家族で発表し合うという経験をしました。当時は気恥ずかしい感じもしましたが、今思うと意味のある取組であったように思います。

さて、さらに調べていくと、次のような言葉にも出会いました。

「一生の計は少壮の時にあり」

少壮の時とは、若くて意気盛んな時期のことです。まさに小学生時代もこれに当てはまります。そう考えると、自分の将来、未来のことについて、小学生の頃からしっかり考えておくこと、明確な夢を思い描いておくことが肝心ののだと感じます。

保護者及び地域の皆様、2学期中の本校教育活動への多大なる御支援・御協力、誠にありがとうございました。心より感謝を申し上げます。冬休み中も、子どもたちが生活リズムを整え、健やかに勉強・スポーツ・お手伝い等に取り組めるよう、見守り・御指導をよろしく願います。

どうぞよい年をお迎えください。